

# Google Workspace for Education

## 学びを次のステージへ

—それぞれの学びの場に最適なエディション—

Google Workspace  
for Education



- Google for Education お問い合わせ事務局  
【受付時間】 9:00 ~ 18:00 月曜日~金曜日（祝祭日、年末年始除く）  
0120-905-860 gfe-jp-isr@google.com
- Google for Education 公式サイト <https://edu.google.co.jp>

- 本冊子に掲載の画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。
- 記載内容は 2022 年 3 月 30 日現在のものです。

当社が提供するすべてのコンテンツ(著作物、肖像、その他一切の情報)は、当社もしくは、その委託先等が著作権等の知的財産権、使用权、その他の権利を有しています。  
一部の機能、サービス、アプリケーションは、デバイスやネットワークによって仕様ごとの性能を発揮しない場合や、デバイスやネットワーク、あるいは地域によってご利用いただけない場合があります。追加の利用規約や料金が適用されることもあります。すべての機能とその他の製品 / サービス仕様は、予告なく変更される場合があります。

# Google Workspace for Education で 教育環境の質を高める

Google Workspace for Education は、より高度な機能で  
1人1台端末と高速大容量通信ネットワーク環境が整備された教育現場の声に応えます。  
信頼できるセキュリティ基盤で「新しい学び」と「働き方改革」を支援する  
Google Workspace for Education の各種エディションを、  
具体的なシーンとともに紹介します。



## Google Workspace for Education

時間や場所を問わずに学習や校務をサポートする  
シンプルかつ柔軟で安全な学習支援ツール



### クラウド型ソリューション

政府が教育現場へも推奨する「クラウド・バイ・デフォルト」に対応。Google のクラウドの優れた処理能力により、システム管理の負荷を軽減することができます。



### 共同編集での「協働学習」

複数人での同時編集が可能な様々なアプリケーションで、オンラインでの「協働学習」を強力に支援します。



### 安全な学習環境

教育機関に特化したセキュリティ対策で、組織のデータを保護。信頼できる安全なクラウド環境で、学習を支援します。

信頼できるセキュリティ基盤で「新しい学び」と「働き方改革」の推進を支援

## Google Workspace for Education コアサービス

**協働** 子どもたちの主体的・対話的で深い学びと、校務の効率化をサポート



**Google ドキュメント**  
文書の作成と編集



**Google スプレッドシート**  
表計算や意見の集約



**Google スライド**  
プレゼンテーションの作成と編集



**Google Jamboard**  
デジタルのホワイトボード



**Google フォーム**  
アンケートや小テストの作成と集約



**Google サイト**  
ウェブサイトの作成と公開



**Google ドライブ**  
多様なファイル形式に対応する  
データ保管庫



**Google Classroom**  
指導と学習を1カ所で管理

**コミュニケーション** オンラインでコミュニケーションをさらに円滑に



**Gmail**  
安全で柔軟なメール、  
通知の確認も



**Google Chat**  
個人やグループでのチャット、  
ファイル共有



**Google Meet**  
オンライン授業や会議

**管理** 必要な情報を一元管理し、業務の負担を軽減

組織を安全に管理



**管理コンソール**  
組織のセキュリティ対策と  
一元管理



**Google Vault**  
組織のデータ管理と監査

スケジュールを管理



**Google カレンダー**  
予定の管理と公開

アイデアやメモを管理



**Google Keep**  
メモとリストを管理

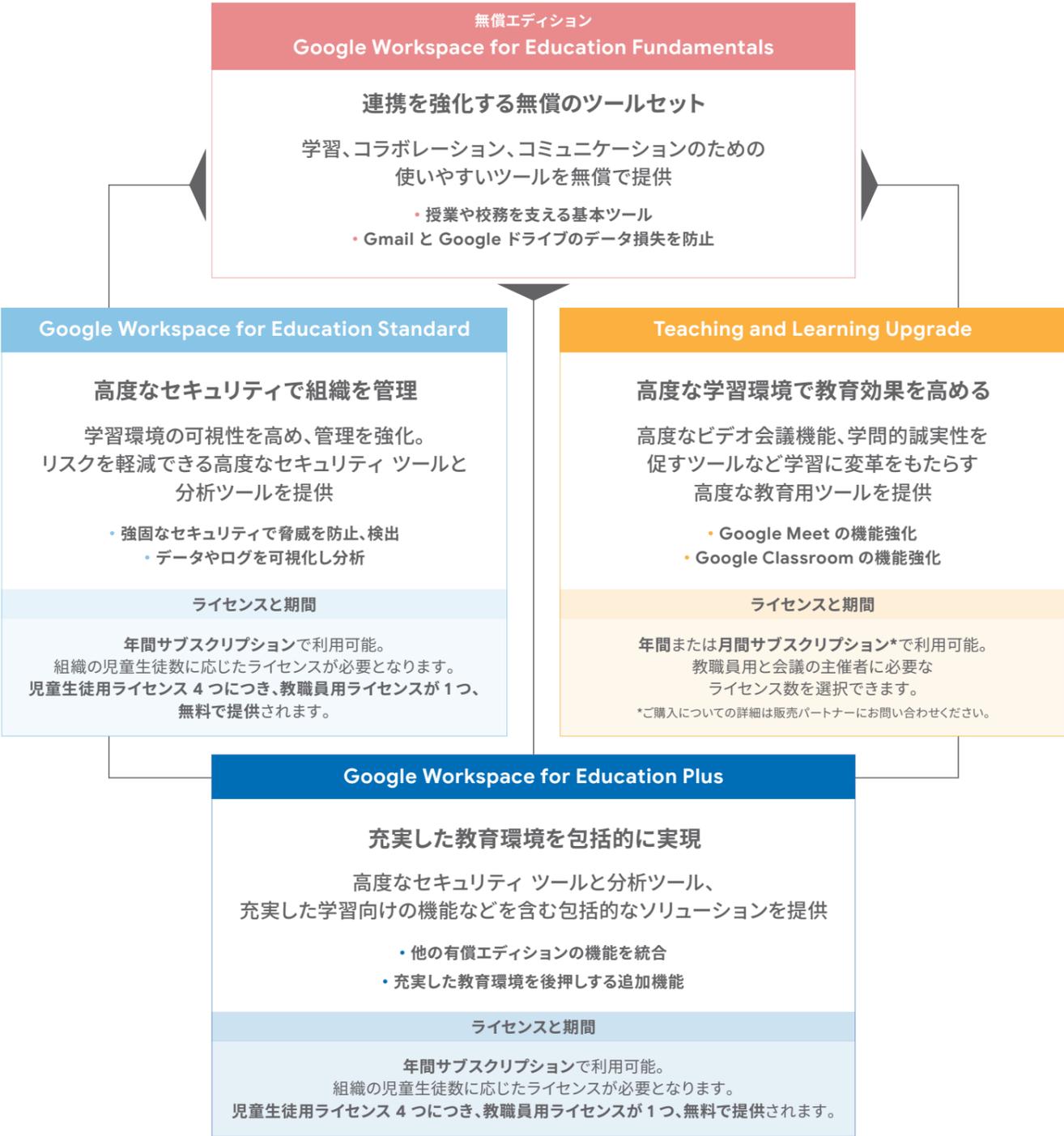
タスクを管理



**ToDo リスト**  
業務や作業内容を管理

# ニーズに合わせて選べるエディション

Google Workspace for Education は、教育環境の質を高める 4 つのエディションを提供しています。 ※さらに詳しい情報は 15 ページ、17 ページをご参照ください。



# エディションの比較

多様なニーズに応える Google Workspace for Education のより高度な機能をエディションごとにご確認ください。

|                  |                                   | Education Fundamentals | Education Standard | Teaching and Learning | Education Plus |
|------------------|-----------------------------------|------------------------|--------------------|-----------------------|----------------|
| セキュリティと管理        | セキュリティ ダッシュボード                    |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | セキュリティ 調査ツール                      |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | セキュリティの状況                         |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | コンテキスト アウェア アクセス                  |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | エンタープライズ エンドポイント管理                |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | セキュリティ サンドボックス                    |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | 対象グループ                            |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | 動的グループ                            |                        | ●                  |                       | ●              |
| データ分析            | BigQuery でのデータ分析                  |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | コネクテッド シート                        |                        |                    |                       | ●              |
| ストレージ            | Google ドライブ、Gmail、Google フォトの保存容量 | プールされた 100 TB          |                    |                       |                |
|                  | クラウド ストレージの追加                     |                        |                    | 100 GB / 1 ユーザー       | 20 GB / 1 ユーザー |
| 検索               | Cloud Search                      |                        |                    |                       | ●              |
| Google ドライブ      | ドライブのラベル                          |                        | ●                  |                       | ●              |
|                  | ドキュメントの承認を管理                      |                        |                    |                       | ●              |
|                  | ドライブの信頼ルール ※ β版提供予定               |                        |                    |                       | ●              |
| Google Meet      | 最大参加人数                            | 100 人                  |                    | 250 人                 | 500 人          |
|                  | 会議の録画とドライブへの保存                    |                        |                    | ●                     | ●              |
|                  | ライブ ストリーミング                       |                        |                    | 10,000 人              | 100,000 人      |
|                  | ノイズ キャンセル                         |                        |                    | ●                     | ●              |
|                  | ブレイクアウト ルーム                       |                        |                    | ●                     | ●              |
|                  | アンケート                             |                        |                    | ●                     | ●              |
|                  | Q&A                               |                        |                    | ●                     | ●              |
| Google Classroom | 出席レポート                            |                        |                    | ●                     | ●              |
|                  | 独自性レポート                           | 5 件の独自性レポート            |                    | 無制限の独自性レポート           |                |
|                  | 独自性レポートの類似レポートの比較                 |                        |                    | ●                     | ●              |
| サポート             | サードパーティ製アプリのアドオン ※ 近日提供予定         |                        |                    | ●                     | ●              |
|                  | サービス スペシャリスト チームによる迅速なサポート        |                        |                    |                       | ●*             |

\* 購入ライセンス数が 200 以上の教育機関にご利用いただけます。

# ケース別 エディション紹介

Google Workspace for Education のより高度な機能が次のステージに向かう教育現場の様々なシーンをサポートします。

|   |   |                                   |                                   |
|---|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <p><b>Case 1</b><br/>学びの進化</p>  | <p>オンライン授業に最適な機能で進化する学びを支える</p>   | <p><b>Case 2</b><br/>校務の効率化</p>   | <p>オンラインで校務 / 事務を効率化働き方改革を進める</p> |
|    |    |                                   |                                   |
| <p><b>Case 3</b><br/>教育ビッグデータ</p>   | <p>教育ビッグデータをエビデンスに個別最適な学びを実現する</p>  | <p><b>Case 4</b><br/>クラウドを安全に</p> | <p>さらに高度なセキュリティがこれからの学びの場を守る</p>  |
|  |  |                                   |                                   |

## INDEX

|               |   |    |
|---------------|---|----|
| <b>case 1</b> | <b>学びの進化</b> —オンライン授業に最適な機能で進化する学びを支える—     |    |
| scene 1       | 遠隔授業でのグループワーク                               | 7  |
| scene 2       | 休校時にも双方向型の遠隔授業を                             | 7  |
| scene 3       | 多様な状況下にある子どもたちの学びの保障をサポート                   | 8  |
| scene 4       | 提出物の盗用の可能性を素早くチェック                          | 8  |
| <b>case 2</b> | <b>校務の効率化</b> —オンラインで校務 / 事務を効率化 働き方改革を進める— |    |
| scene 1       | 書類の作成から承認までをよりスムーズに                         | 9  |
| scene 2       | 欲しい情報・必要なファイルにすぐアクセス                        | 10 |
| scene 3       | 年度ごとの更新作業の負担を軽減                             | 10 |

|               |   |    |
|---------------|---|----|
| <b>case 3</b> | <b>教育ビッグデータ</b> —教育ビッグデータをエビデンスに個別最適な学びを実現する— |    |
| scene 1       | 日々の学習履歴を蓄える                                   | 11 |
| scene 2       | 一人ひとりのスタディ ログを支援に活かす                          | 12 |
| scene 3       | 客観的なデータをもとに活用の格差を是正                           | 12 |
| <b>case 4</b> | <b>クラウドを安全に</b> —さらに高度なセキュリティがこれからの学びの場を守る—   |    |
| scene 1       | どこからでも安全かつ柔軟にアクセス                             | 13 |
| scene 2       | 学校管理外の端末からの情報漏洩対策                             | 13 |
| scene 3       | セキュリティの安全性を定期的に観察                             | 14 |
| scene 4       | マルウェアなどの脅威から組織を保護                             | 14 |

# オンライン授業に最適な機能で 進化する学びを支える

学びが多様化し、子どもたちの学習フィールドは広がり続けています。学校においても、社会に開かれた学校として地域や保護者を巻き込んだ ICT による活用の取り組みが行われています。こうした中で、多様な子どもたちの個別最適な学びと、これまで以上にきめ細やかな支援が可能になりました。

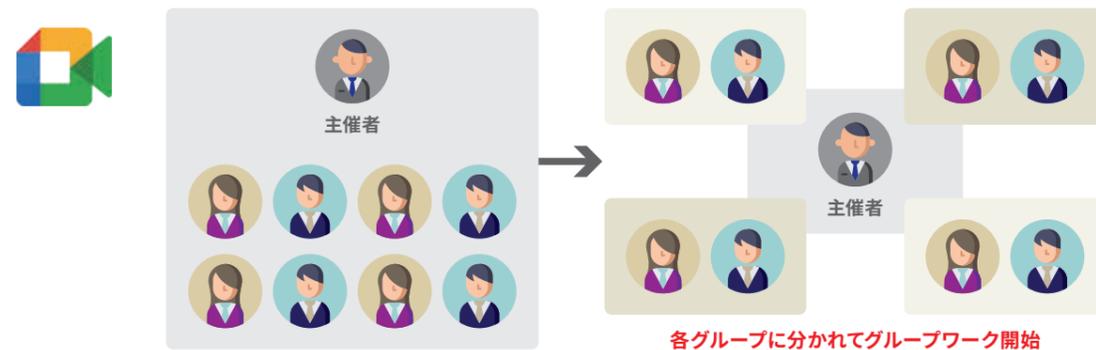
学校を取り巻く学びの環境の急速な変化に対応し、オンラインでも子どもたちの学びを止めないためのさらに充実したツールを提供します。

## Scene 1 遠隔授業でのグループワーク

ブレイクアウト ルーム

遠隔授業でのグループワークは、主体的・対話的で深い学びを実現するために有効な手立ての一つです。

Google Meet のブレイクアウト ルームで、遠隔でもスムーズにグループワークを開始できます。



## Scene 2 休校時にも 双方向型の遠隔授業を

Google Meet のアンケート機能や Q&A 送信機能を使えば、主催者である先生が子どもたちの意見や質問をリアルタイムに収集できます。画面上で内容や回答を共有することで、遠隔でも双方向型の対話的な授業が可能です。

※ 記載されたアンケートや Q&A、投票内容に関しては Google Meet の終了後に主催者の先生に送られます。



## Scene 3 多様な状況下にある 子どもたちの学びの保障をサポート

ライブストリーミング 録画

特別な事情で授業に参加できなかった子どもたちの学びの保障には録画機能が役立ちます。Google Meet で授業を録画すれば、自動的に Google ドライブに動画が保存されるので、必要なときに必要な子どもたちへ安全に共有できます。また、子どもたちは何度でも自分のペースで授業を視聴することができます。

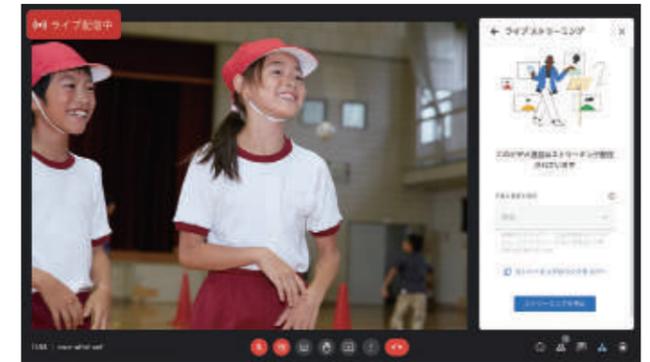
ライブストリーミングを使えば、行事の様子などを組織内の最大 10 万人\*に向けて限定配信することができます。配信した内容も録画可能です。

\* Teaching and Learning Upgrade は最大 1 万人が視聴可能です。

出席レポート ノイズ キャンセル

学校外から授業に参加する場合でも、Google Meet を使えば出席レポート\*で出席状況を把握できます。様々な環境下でも、ノイズ キャンセルが周囲の余計な音を自動的に除去し、集中して授業に取り組みます。

\* 出席レポートは、Google Meet の終了後に主催者の先生に送られます。



| 氏名  | 姓  | メールアドレス         | 長さ  | 参加した日時 | 退出した日時 |
|-----|----|-----------------|-----|--------|--------|
| 太郎  | 山田 | yamada@...jp    | 45分 | 9:10   | 9:55   |
| 一郎  | 鈴木 | suzuki@...jp    | 42分 | 9:11   | 9:53   |
| 花子  | 田中 | tanaka@...jp    | 43分 | 9:08   | 9:51   |
| 愛   | 空澄 | soji@...jp      | 44分 | 9:09   | 9:50   |
| 剛   | 高橋 | takahashi@...jp | 41分 | 9:10   | 9:51   |
| 早紀子 | 南  | minami@...jp    | 42分 | 9:11   | 9:53   |
| 秀雄  | 田村 | tamura@...jp    | 43分 | 9:08   | 9:51   |
| 悠海  | 夏海 | natsunami@...jp | 44分 | 9:09   | 9:50   |
| 大物  | 藤原 | fujiwara@...jp  | 41分 | 9:10   | 9:51   |

## Scene 4 提出物の盗用の可能性を 素早くチェック

独自性レポート

無制限で使用できる独自性レポートや校内での類似レポートの比較によって、子どもたちの提出物に盗用の可能性や引用表記の漏れがないかを Google 検索で素早くチェックすることができます。

【出典】

外務省 HP

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

首相官邸「SDGs アクションプラン 2022」

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sdgs/dai11/siryou1.pdf>



# オンラインで校務 / 事務を効率化 働き方改革を進める

深刻化する先生の長時間勤務を改善するため、多くの自治体で ICT を活用した校務の効率化が進められています。クラウドを前提とした Google のツールは、高度な管理機能で先生間の連携を強化し、校務効率化を促進。先生が先生でなければできないことに全力投球し、生き生きと働ける環境作りを支えます。

## Scene 1 書類の作成から承認までをよりスムーズに

### スマートキャンパス

職員会議のペーパーレス化や連絡手段のデジタル化は、校務効率化の一步として広がっています。さらなる校務効率化には、チームで取り組む体制の強化が必要です。

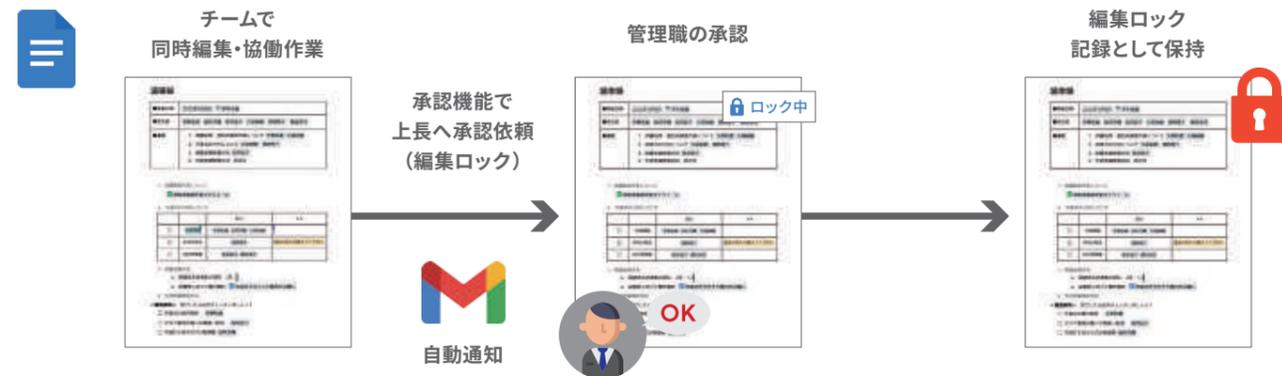
Google ドキュメント上では、これまでの同時編集に加え、「@」を入力して日付・ファイルなどを引用したり、関連資料を1つのファイル上でプレビュー表示したりできるスマートキャンパスで、先生の柔軟かつ手軽な連携が実現できます。



※ スマートキャンパスは Education Fundamentals でもご使用いただけます。

### ドキュメントの承認

完成した資料の管理職への確認は、ドキュメントの承認機能で印刷・署名・押印不要で進めましょう。期限を設定しておけば、複数の承認が必要な場合も AI が自動でリマインドメールを送信してくれます。



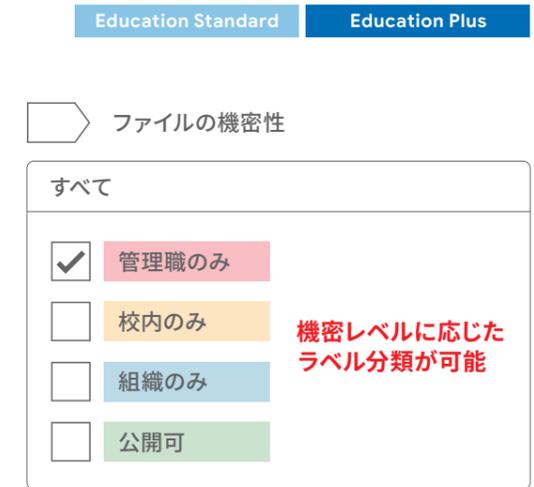
## Scene 2 欲しい情報・必要なファイルにすぐアクセス

### ドライブのラベル

忙しい中で、必要なデータやファイルを探す時間はできるだけ短くしたいものです。

ドライブのラベルで「修学旅行」などのラベルを付与しておけば、年度別のフォルダに格納されている過去の資料をより効率的に探し出すことができます。

ドライブのラベルは、管理者が機密レベルに応じて定義したルールの適用もできるので、文部科学省が示す重要性分類にも即した安全管理が可能になります。



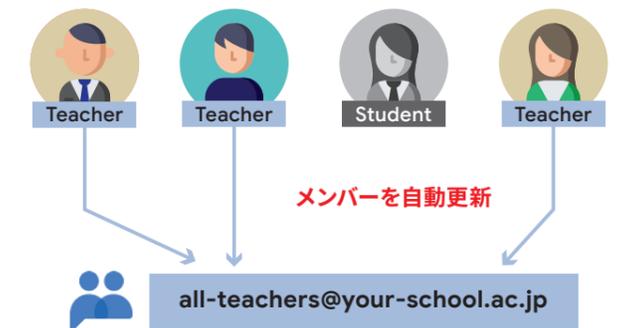
## Scene 3 年度ごとの更新作業の負担を軽減

### 動的グループ

チームとして活用してきた Google グループも、新年度に向けて更新が必要になります。

メンバーの属性に基づいてグループメンバーが自動更新される動的グループによって、これまで利用してきたいくつものグループの年度更新作業の負担を軽減することができます。

### Education Standard Education Plus



### 対象グループ

チームの先生を1つのグループにまとめて共有範囲に設定できる対象グループも、動的グループと組み合わせることで自動的に更新され、人為的な更新漏れによる情報流出の防止にもなります。



共有先として、対象グループの選択が可能に

# 教育ビッグデータをエビデンスに 個別最適な学びを実現する

文部科学省は、ICT 環境を最大限活用し、これまで以上に「個別最適な学び」の実現を推し進めています。デジタル庁などの関連省庁も巻き込みながら、個人の学習の軌跡を含む教育データを利活用した学びの後押しについて、検討が本格化しています。

全国に先駆けて、高知県では、教育データを活用した個別最適な学びの実現を目指し、すべてがクラウド上で機能する学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」を運用しています。この「高知家まなびばこ」での学習履歴(スタディ ログ)の蓄積とその分析、それを支援や指導、教育政策に活かすといった好循環を Google のツールがサポートしています。

## Scene 1 日々の学習履歴を蓄える

Education Standard

Education Plus

### BigQuery へのログの出力

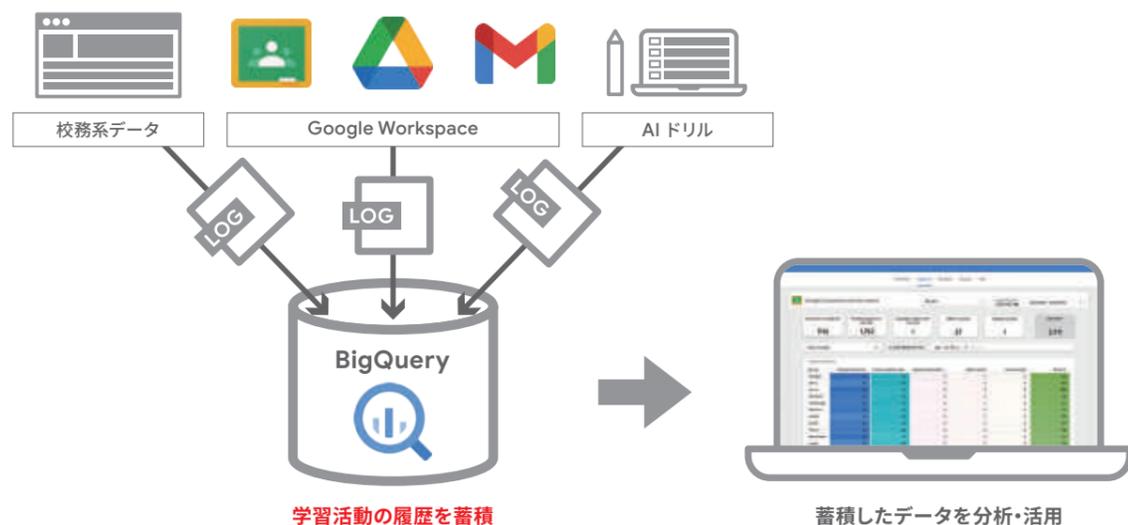
1人1台端末環境が整った今、子どもたちが ICT を使って学んだ履歴は、貴重な財産として蓄積し可視化することが可能になりました。Google のツールは、これまで教育委員会、学校、子どもたちなどが個別に保有していたデータを一元化。豊富なデータを可視化し、分析結果を様々な形の利活用につなげる支援をします。

こうした教育ビッグデータの長期保持を可能にするのが **BigQuery\*** です。

BigQuery は、子どもたちの日々の ICT 活用で生まれる膨大なデータを蓄積し、高速で処理するサービスです。ペタバイト規模のデータも数十秒で処理が完了します。

\* BigQuery の利用には、プロジェクトのセットアップが必要です。BigQuery 上のデータ保管、データ処理には月ごとの無料枠をご利用いただけます。

▶ 詳細はこちら: <https://cloud.google.com/bigquery>



## Scene 2 一人ひとりのスタディ ログを支援に活かす

### BigQuery へのログの出力 データポータル

全国に先駆けて教育データの活用を実践している高知県では、デジタル教材(Google フォーム)と先生が運用する Google Classroom を連携し、成績データを **BigQuery** にアップロード。

蓄積したデータを**データポータル**で自由に視覚化し、分析結果を個別最適な支援に活かす仕組みが作られています。

データポータルでは、Google Classroom 用のテンプレートが利用できるので、ダッシュボードをより簡単に作成して分析に活用することもできます。



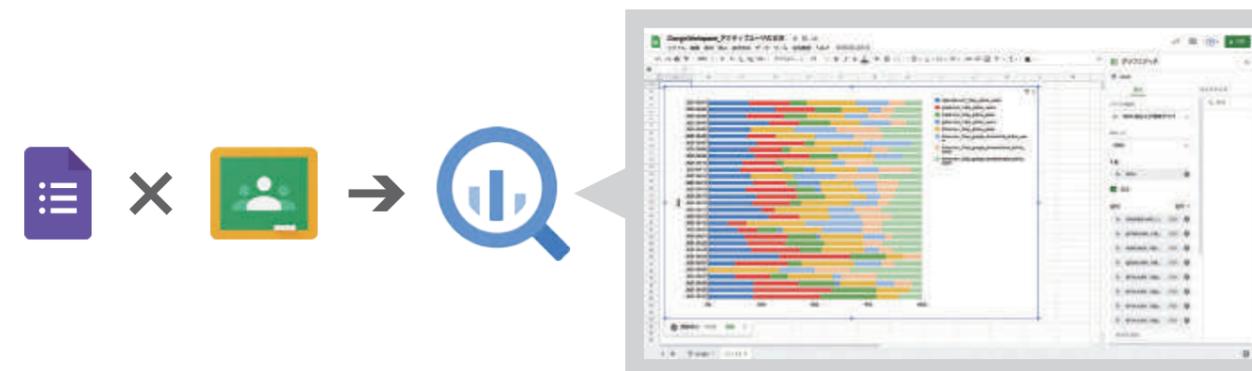
※ データポータルはどなたでもご利用いただけます。

## Scene 3 客観的なデータをもとに活用の格差を是正

### BigQuery へのログの出力 コネクテッドシート

**BigQuery** には Google Classroom や Gmail などコアサービスのアクティビティ ログを蓄積することができます。このログを**コネクテッドシート(Plusのみ)**で視覚化して分析することも可能です。

コネクテッドシートは、データベース言語を使用せず、Google スプレッドシートの機能でデータ分析ができます。各学校や学年の活用状況とその傾向を使い慣れた Google スプレッドシートで多角的に分析することで、現状の把握と活用方針の策定に役立てられます。



# さらに高度なセキュリティが これからの学びの場を守る

現在、教育現場ではネットワークを内と外で分ける「境界防御モデル」が主流です。しかし「学校のネットワークだから安全」と単一要素で判断してしまうことは、セキュリティリスクを招く可能性があります。

社会に開かれた学びや働き方改革の実現には、アクセス元、アクセス時間、対象などの多要素に応じて柔軟にアクセス制御をするセキュリティモデル「ゼロトラスト\*」での運用が最適です。また、クラウドベースのツールのセキュリティ面を適切に管理し、脅威に対処できるように備えることも重要です。

Google のツールは、ゼロトラストの考え方に基づいたアクセス制御で、柔軟かつ強固なクラウドセキュリティを実現します。

\*文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」今後目指すべきセキュリティモデルにも準拠

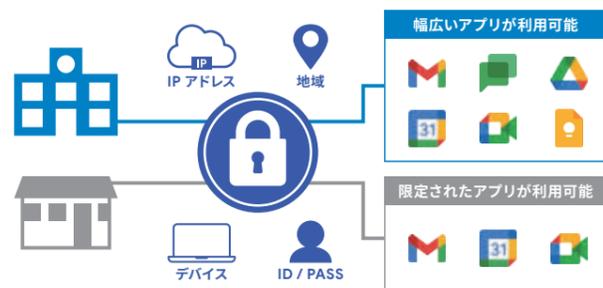
## Scene 1 どこからでも安全かつ柔軟にアクセス

### コンテキスト アウェア アクセス

場所や時間を問わずに端末を活用できる安心安全な利用環境を作るには、より柔軟で強固なセキュリティ対策が必要です。

コンテキスト アウェア アクセスは、従来のユーザー ID やパスワードの情報に加え、信頼できるアクセスかどうかを地域、IP アドレス、デバイスの情報など複数の要素で判断します。

- 例 1: 学校内外からのアクセスを管理し、アプリを制御
- 例 2: 学校管理外の端末からのアクセスを管理
- 例 3: 校務系 / 学習系アプリへのアクセスを管理



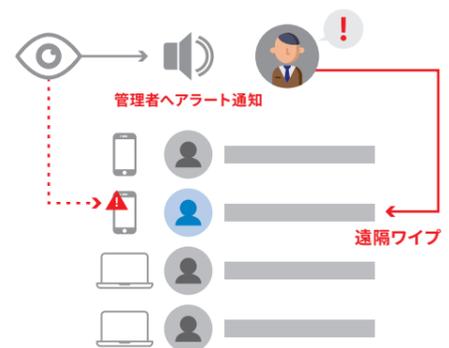
Education Standard Education Plus

## Scene 2 学校管理外の端末からの情報漏洩対策

### エンタープライズ エンドポイント管理

先生がプライベートのモバイル端末から学校管理のアカウントを使ってファイルなどにアクセスする場合、万が一に備えたセキュリティ対策が必要です。

エンタープライズ エンドポイント管理では、アカウントの遠隔ワイプができる他、プライベートのモバイル端末やパソコンにおけるアクティビティも一定期間記録します。こうした記録はユーザーやアクティビティ情報などでフィルタリングもでき、事前に設定しておけば、管理者は不審なアクティビティが発生した際、アラート通知を受け取ることができます。



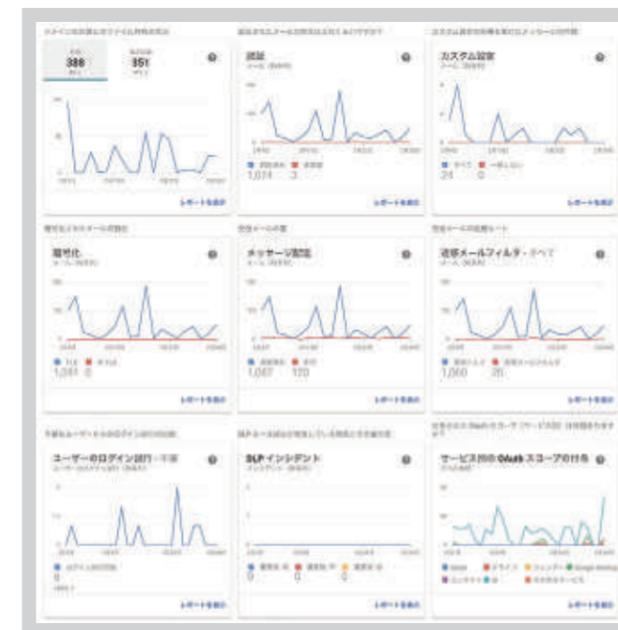
Education Standard Education Plus

## Scene 3 セキュリティの安全性を定期的に観察

### セキュリティ ダッシュボード

機密データが第三者と共有されていないか、外部から攻撃を受けていないか、管理者は様々な観点で組織のセキュリティリスクを把握する必要があります。

セキュリティ ダッシュボードで、管理者はファイルの共有状況、迷惑メールの傾向、不審なユーザーの動向など、組織全体の重要なセキュリティ指標をレポートとして素早く確認できます。



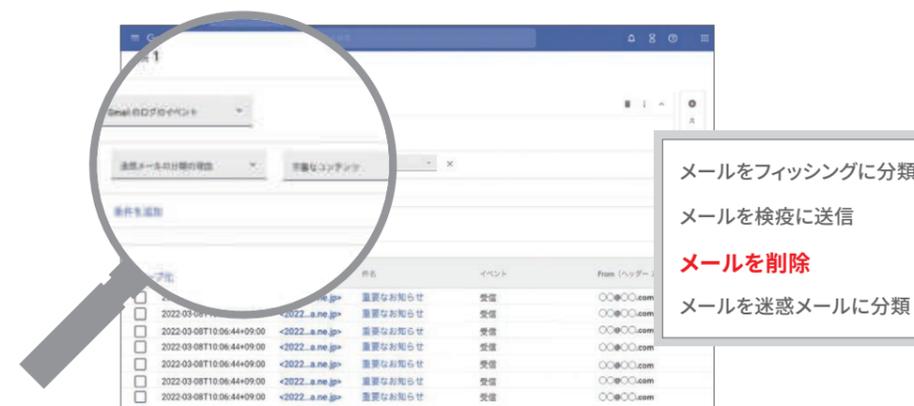
Education Standard Education Plus

## Scene 4 マルウェアなどの脅威から組織を保護

### セキュリティ調査ツール

組織内で迷惑メールやマルウェアを含むメールを受信した場合、メールを特定してメッセージの内容を監査したり、悪意のあるメールを開封しないように検索して削除したりする必要があります。

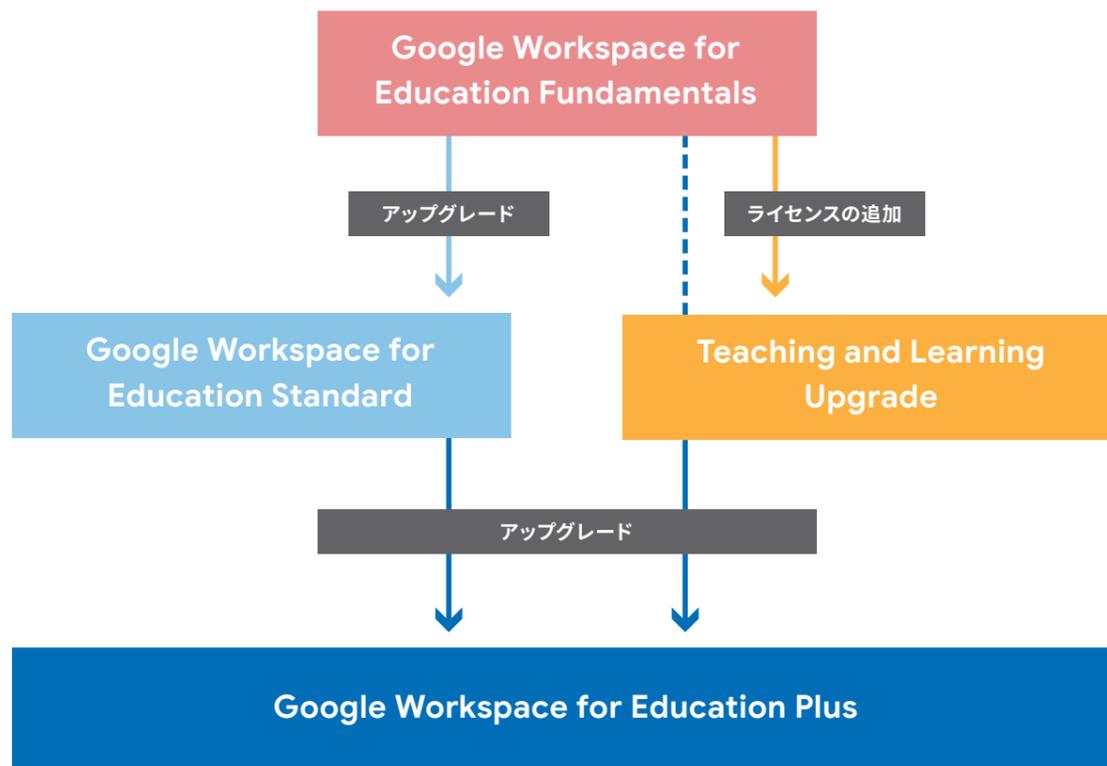
セキュリティ調査ツールを使うことで、セキュリティ上の脅威による様々な問題を特定し、遠隔から対処することができます。



Education Standard Education Plus

## エディションの詳細

ニーズに合わせて、柔軟なエディションの組み合わせを用意しています。  
既に Google Workspace for Education をご利用のお客様は、  
いつでもアップグレードが可能です。



### ✓ 最小購入要件

- Teaching and Learning Upgrade は最小購入要件はありません。
- Education Standard および Education Plus は組織の総児童生徒数に基づいて最小購入要件が決定します。例えば、1,000 人の児童生徒が在籍する場合は、少なくとも 1,000 ライセンスをご購入いただく必要があります。また、ご購入いただいたライセンス 4 つごとに教職員の無償ライセンスが 1 つ提供されます。

### ✓ クラウド ストレージ

- いずれのエディションでも、各教育機関にドメイン全体で 100 TB のストレージが提供されます。
- Teaching and Learning Upgrade と Education Plus のエディションでは、購入するライセンス数に応じた追加ストレージをご利用いただけます。

## Google for Education のサポート

先生に向けた様々なサポート体制を用意しているので、  
安心して Google for Education を活用していただくことができます。

### 活用ライブラリ

Google for Education 活用ライブラリ



日頃から実践されているコミュニティの  
先生方の実践ヒント集  
<https://goo.gle/library>

### 日本全国の注目の事例

世界中の学校や組織による革新的な活用事例



Google for Education の活用事例を  
まとめた事例ページ  
<https://goo.gle/school-jp>

### Grow with Google

学びたいスキルを動画で学ぶ



Google が用意する様々なトレーニングの中から、  
要望にあったものを選択して受講できます  
<https://g.co/growjapan>

### サポートセンター

お困りの際にご利用いただける各種サポート



質問や解決したい問題がある場合、  
こちらでご紹介する各種サポートをご利用ください  
<https://goo.gle/EDUsupport>

## Q&A

### Q. 同時に複数のエディションを利用することはできますか？

A. ニーズに応じて、いずれかのエディションをお選びください。Education Fundamentals または Education Standard に Teaching and Learning Upgrade を追加して、高度なビデオ通信機能などをご利用いただくこともできます。

### Q. Google Workspace for Education の有償エディションを試用することはできますか？

A. ご試用いただけます。各エディションでは、50 アカウント 60 日間の各種トライアルが可能です。トライアルに関しては各販売パートナーにお問い合わせください。

※ 販売パートナーによって管理されていないアカウントをお持ちの組織の特権管理者は、Google 管理コンソールから Teaching and Learning Upgrade に限って無料試用を開始できます。

### Q. Education Standard、Teaching and Learning Upgrade、または Education Plus を購入するにはどうすればよいですか？

A. Google Workspace for Education 販売パートナーからご購入いただけます。詳しくは販売パートナーまたは、営業担当にお問い合わせください。

### Q. 一部のユーザーのみを対象にライセンスを購入することはできますか？

A. Education Standard と Education Plus の場合は、児童生徒の総在籍者数以上の数のライセンスをご購入いただく必要があります。ご購入いただいたライセンス 4 つごとに無料ライセンスが 1 つ提供されます。Teaching and Learning Upgrade は、何ライセンスからでもご購入いただけます。

### Q. 児童生徒や教職員でライセンスに違いはありますか？

A. Education Standard と Education Plus は、児童生徒と教職員で異なるライセンスが提供されます。児童生徒用ライセンスは組織に在籍する児童生徒の人数分ご購入いただく必要があり、児童生徒用ライセンス 4 つごとに 1 つの教職員用ライセンスが無料で提供されます。なお、Education Plus は一部、教職員用ライセンスでのみご利用いただける機能がございます。

## お問い合わせ先

### ▶ 販売パートナーを探す

[条件]をクリック後、  
[有償版 Google Workspace for Education] を  
ご選択ください。

<https://giga.withgoogle.com/reseller-directory/>



### ▶ 公式お問い合わせフォーム

情報をご入力後、[サービスに関するご希望]で  
ご興味をお持ちの有償エディションの項目を  
すべてご選択ください。

[https://edu.google.com/intl/ALL\\_jp/contact/](https://edu.google.com/intl/ALL_jp/contact/)



## 索引

### Google Meet

|                |   |
|----------------|---|
| ブレイクアウト ルーム    | 7 |
| アンケート          | 7 |
| Q&A            | 7 |
| 会議の録画とドライブへの保存 | 8 |
| ライブ ストリーミング    | 8 |
| 出席レポート         | 8 |
| ノイズ キャンセル      | 8 |

### Google Classroom

|         |   |
|---------|---|
| 独自性レポート | 8 |
|---------|---|

### Google ドライブ

|              |    |
|--------------|----|
| スマート キャンパス   | 9  |
| ドキュメントの承認を管理 | 9  |
| ドライブのラベル     | 10 |

### データ分析

|                 |        |
|-----------------|--------|
| BigQuery へのログ出力 | 11, 12 |
| コネクテッド シート      | 12     |
| データポータル         | 12     |

### セキュリティと管理

|                    |    |
|--------------------|----|
| 動的グループ             | 10 |
| 対象グループ             | 10 |
| コンテキスト アウェア アクセス   | 13 |
| エンタープライズ エンドポイント管理 | 13 |
| セキュリティ ダッシュボード     | 14 |
| セキュリティ調査ツール        | 14 |